

イブニング サロンNEWS

イブニングサロン公式サイト

<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

発行

「イブニングサロンNEWS」を発行する会
(事務局・東方通信社)
TEL:03-3518-8844



川島製作所を案内する佐久間社長（中央）と視察する野長瀬教授（「コロンブス」08年1月号より）

世界的技術を持つメカトロニクス企業の スペシャリストたちが集結!!

7月4日（金）、第19回目の「新都心イブニングサロン」が行われる。今回のテーマは「メカトロニクス」。高い技術と大きな夢を持った企業・団体・大学が多数集る。なかには世界的な技術力を持つニッチトップもあり、こうした企業を見ていると、ニッポンのモノづくり力はまだまだ大丈夫だと実感する。多くの参加者と交流し、今後のビジネスに役立ててほしい。

独自の自動包装機をつくりだす 埼玉発のニッチトップメーカー!!

（株）川島製作所

日本屈指の自動包装機メーカーの原点は、彫金加工の技術にあった。「創業者の川島駒吉は彫金職人でした。その技術を生かし、戦後にキャラメル包装を引き受け、しだいに菓子の包装に特化するようになったのです」と佐久間強社長は話す。こうして47年から

自動包装機の製造をスタート。当初はカンタンな包装を中心に扱ってきたが、しだいに複雑な形状にチャレンジするようになっていった。

独自のモノづくりを支えているのは約70名の開発スタッフ。それぞれが、メカ、電気、ソフトなどの分野で力を発揮している。上場企業クラスの開発体制といえる。

ところで、最近の菓子はロングセラーが出にくく、商品が頻繁に入れ替わる。そのため、次から次へと新商品にマッチするような包装機械や包装素材をつくる必要があるそうだ。その点について「当社には長年培ってきたノウハウがあるから、紙から積層フィルムま

で、素材ごとの特性を把握できます。お客のニーズに合わせたモノづくりができます」と佐久間社長。

このこだわりが生んだ自動包装機のラインナップは実に400種以上。その数は今も増えつづけている。佐久間社長は「包装は日本の文化。ワラ納豆や柿の葉寿司などはその典型だ」と話す。ニッチな業界で生き残るためには、佐久間社長のように、こだわりや夢を持つことが大切なのかもしれない。

埼玉県草加市谷塚上町434
TEL 0489-25-1573
<http://www.kawashima-pack.co.jp/>

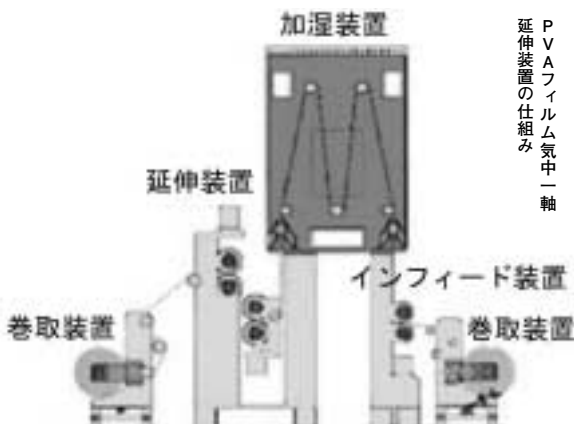
企画から試作開発まで PVAフィルム延伸機のニッチトップ

西工業（株）

パソコンのモニターや薄型テレビ、携帯電話など、今や液晶の活躍の場は増加の一途。この液晶にはPVA（ポリビニルアルコール、Polyvinyl Alcohol）フィルムというものが使われている。水溶性のため液晶となじみやすく、液晶層をはさむ偏光板の基材として幅広く利用されている。このフィルムを延伸するとヨウ素分子が一定方向にそろい、光の透過率を調整したり、透過効果を高めることができる。このとき使われる延伸機の製造で高い技術と企画力を持つのが、群馬の西工業だ。

同社の延伸機の性能と技術力はかなりのもので、50〜90度の飽和蒸気で延伸するタイプは、従来の水中延伸タイプと比較しても、延伸フィルムの厚みまだらの発生が少なく、光学特性に優れた偏光子をつくることができる。しかも、従来より約2倍の速さで延伸できるというからオドロキだ。社内には研究所も完備しており、顧客の細かいニーズにも対応できるのが強み。取引先および相談に来る企業のほとんどが、超一流の

PVAフィルム空中一軸延伸装置の仕組み



メーカーというから、その実力は折り紙つき。群馬の「1社1技術」にも認定（平成13年度）されており、今後の活躍からも目が離せない。

1 群馬県桐生市境野町3-2153

TEL 0277-43-1533

ロボットの安全性を目指し さまざまな角度から検証・議論を展開

群馬大学 安藤嘉則教授

愛玩用ロボットや福祉用ロボットなどの登場で、ますます身近になりつつある「ロボット」たち。SFのようにロボットと共生する時代も、意外に早く到来するかもしれない。ただ、ロボットが生活に普及してくれば、便利になる反面、事故や危険性も増える可能性がある。「ロボットを安全に運用するためにはどうしたらいいか」、そうした研究が今後は重要になりそうだ。

この「ロボットの安全技術」の研究でバイオニア的存在だが、群馬大学大学院工学研究科機械システム工学専攻教授の安藤嘉則氏。



バイオニア的存在の安藤氏

安藤氏の専門は機械制御だが、20以上にわたって産業用ロボットの安全性について研究し、国内外の安全規格の策定などにかかわってきた。また、（社）日本ロボット工業会などに参加し、さまざまな角度からロボットの安全性について検証・議論してきた。

「安全性の実現のためには、技術の高さだけでは不十分。やはり環境づくりが大事です。保守管理の徹底、責任の所在、関連の法律の整備など。そのため、行政、弁護士、保険会社などとも協議していく必要があります」と話す。安全なロボット社会の実現のためにも、安藤氏の研究はますます注目されそうだ。

群馬県桐生市天神町1-5-1

ando@me.gunma-u.ac.jp

無料相談会を上手に活用して
ビジネスを強力に推進!!

埼玉県中小企業振興公社

埼玉県中小企業振興公社は、73年に埼玉県内の中小企業の振興を目指して設立された。設立当初は、下請け中小企業の振興が中心だったが、その後は人材育成や商業振興を加え、00年からは経営革新や創業・ベンチャーを目指す中小企業への経営相談、専門家派遣などまで手がけるようになった。

無料の経営相談もあるので、積極的に利用してみてもいいかがだろうか。ちなみに7月は、弁理士による無料



埼玉県中小企業振興公社のサイト

相談があり、8日に「商標・著作権・不正競争防止法」、10日、15日、22日に「特許や実用新案・意匠・商標・著作権」、17日に「IT・ビジネスモデル特許」をテーマに相談会が行われる。

また9日には「知的財産訴訟・契約全般・国際取引・国際紛争処理等」をテーマに弁理士による法律相談会がある。さらに14日、15日には「一般」「税務」「法律」の分野別に事業承継に関する相談会が行われる。

その他、有料で「内部監査」「原価管理」といった研修会も。上手に活用すればビジネスの強い味方になるはず。

埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
ソニックシティビル10F
TEL 048-647-4101
<http://www.saitama-j.or.jp/>

アピールコーナー

産学官連携で
山梨を元気にしたい!!!

山梨大学産学官連携・研究推進機構



山梨大学の産学官連携組織です。大学発ベンチャーの育成や研究業務の支援を行う地域連携室、知的財産の活用や管理を行う知的財産戦略推進室、国の補助金等の外部資金を管理する研究推進室で構成されています。

これまで保険・医療コンサルタントの(株)ブ

リメドジャパンや電気通信関係の(有)ロッタといった企業が巣立っていきました。

また、新潟大学と共同で「国際・大学知的財産本部コンソーシアム」を組織し、中小規模の大学の国際的な産学官連携を推進しています。

問い合わせ
山梨県甲府市武田4-4-37
TEL:055-220-8755
<http://chizai.yamanashi.ac.jp/chikyoo/>

月刊『コロンブス』に連載中の

「野長瀬裕二」のモノづくり通信簿」が大好評!!

月刊「コロンブス」に連載中の「野長瀬のモノづくり通信簿」が好評だ。誌面にある基準で自社を採点すると、改善点が見えてくるといふ。客観的な判断を重ね、新しいビジネスモデルを発見してほしいものだ。

イブニングサロンの世話人をつとめる野長瀬裕二・山形大学教授は、07年12月号から「野長瀬裕二のモノづくり通信簿」をスタート。ここでは元気なモノづくり企業の工場や現場取材し、「成長意欲」



「モノづくり通信簿」をつける野長瀬教授

「独自性」「営業努力」「モノづくり」「研究開発」「事業企画」「経営資源」「雇用創出」を採点。その上で、その企業の強み、逆境時の対処法なども聞き、総合的に企業を採点している。この手法が読者に好評で、「自社の改善点が見えた」「新しいビジネスヒントをつかんだ」といった声が編集部に届いている。

最新の月刊『コロンブス』7月号では、理化学研究所(理研)発ベンチャー第1号の(株)メガオプトが登場。同社は、理研が30年以上培ってきたレーザ研究の成果を活用した装置の開発・販売を手がけている。野長瀬教授による通

信簿を見ても全体的に大きな力を秘めていることがわかる。応用分野も幅広く、自動車、半導体、航空宇宙、農業、医療、エネルギーなどさまざまな業種への応用が期待されている。とはいっても「売上げの15〜20%は国



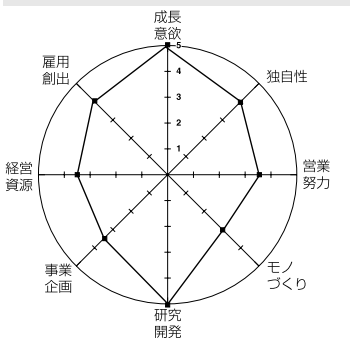
レーザー産業の活性化を目指す内田社長

らの委託事業が占めており、民間需要はまだわずか。この状況を打破して、レーザー産業全体を活気づけたい」と内田社長は話している。

今後「ウチもモノづくり通信簿をつけてほしい」という企業は、「コロンブス」編集部まで連絡を。ドクター野長瀬が診断し、ビジネス成長のヒントを見つけに行く。

TEL 03-3518-8844
 not@tohpress.com

(株)メガオプトの「産業栽培度」



サロン公式サイト アドレス変更しています

第10回新都心イブニングサロンで創刊された「イブニングサロンニュース」は、新都心イブニングサロン公式サイトおよび発行事務局の東方通信社サイトにてアップされています。第9号までアップしていますので、ご覧下さい。



今後も引き続き、さまざまな角度からニュースを発信していきたいと思ひます。新商品や新技術の開発や産学連携事業の開始といった新情報からご意見・ご要望までふるってお寄せください。

★新都心イブニングサロン公式サイト
<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>
 ★東方通信社サイト
<http://www.tohopress.com>
 問合せ：03-3518-8844 担当：滝口 e-mail: ryot@tohpress.com

月刊『コロンブス』が 元気企業を取材します!!

産業栽培誌・月刊『コロンブス』(東方通信社発行)には、野長瀬裕二教授の連載コーナーのほか、地元の元気企業を紹介するコーナーもあります。これまで、さいたま市産業創造財団の江田理事長(04年10月号)やNECパーソナルプロダクツの柴田執行役員(06年2月号)など、イブニングサロンの関係者・参加者たちの取材記事を多数掲載してきました。今後、取材を希望される方はご連絡ください。



「コロンブス」

問合せ TEL: 03-3518-8844

★イブニングサロンの主な世話人
 江田元之(財)さいたま市産業創造財団・理事長/星野弘志 元埼玉県労働部新産業育成課・課長/村重嘉文 (株)イオンティ埼玉・取締役会長/野長瀬裕二(学)山形大学大学院理工学研究科・教授/浜中真人・さいたま商工会議所産業企画部・次長
 ★主な企画運営委員
 山田頼二(財)浜松地域テクノポリス推進機構・事業推進部長/江原秀敏 コラボ産学官・常任理事・事務局局長/古川猛 月刊『コロンブス』編集長(東方通信社)/根津紀久雄 NPO法人北関東産官学研究会・理事長/柴田孝・米沢BNO副代表